

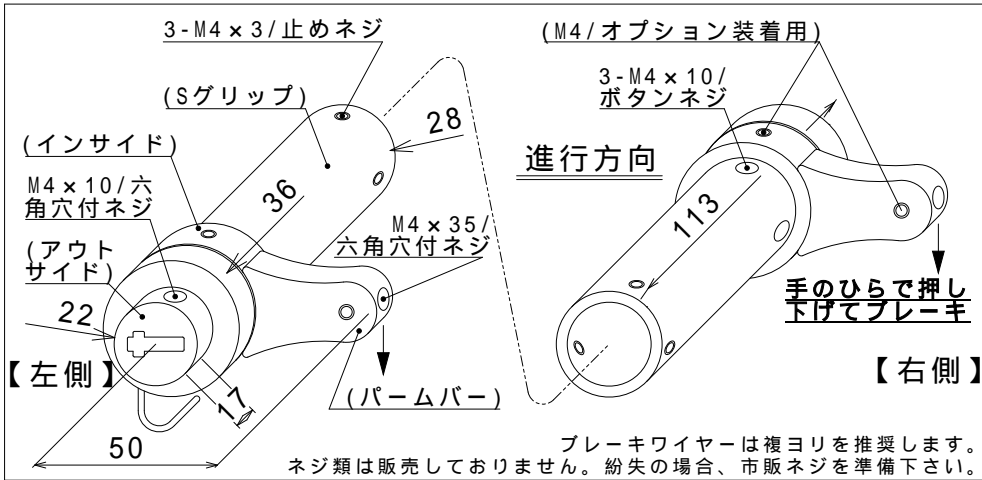


パームブレーキバー / Palm Brake Bar

ブレーキ調整説明書

作業前に必ずお読み下さい

< パームブレーキバー / 各部名称と使用ネジ >



< パームブレーキバー / 商品説明 >

- パームブレーキバーは従来のブレーキレバーに変わる新ブレーキです。
- パームブレーキバーは指先で握る操作ではなく手のひらで操作します。
- パームブレーキバーは押下げる操作のため力をあまり必要としません。
- パームブレーキバーは意匠や特許を取得しJIS試験も合格しています。

○近くの店に依頼する場合はこの " ブレーキ調整説明書 " を提示下さい。

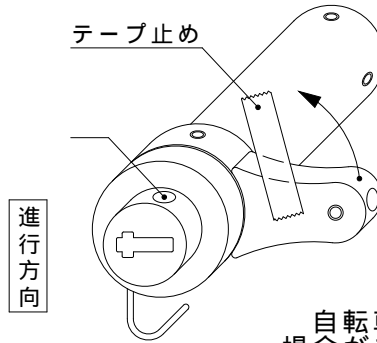


従来の操作方法と違います。十分に試運転を行なって下さい。
いかなる場合の怪我・事故において一切の責任は負えません。
メンテナンスが出来る方が取り付けと調整を行なって下さい。



調整は細心の注意をして下さい。

< ブレーキワイヤーの取り外し >
図は左側ですが作業は左右共に同じです。



使用工具：2、2.5、3六角レンチ、
グリス、ネジ回り止め剤
ブレーキ側のブレーキワイヤーについて、自転車側の取扱説明書に従って必ず取り外して下さい。

ブレーキ側のブレーキワイヤーを外す前にパームバーは引き抜かず止まる位置を維持して下さい。インサイドとパームバー部を予めテープで固定しておけば簡単にワイヤー交換出来ます。

アウトサイド部品を押さえて緩めた後も回らない様にしM4 x 10六角穴付ネジを外して下さい。

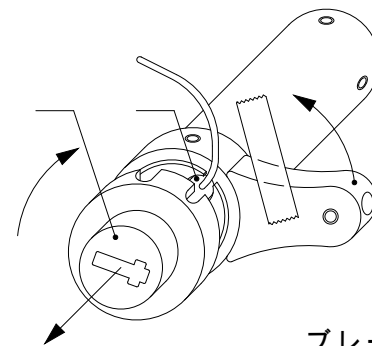
自転車によってはアウターワイヤーの長さが足りない場合があります。十分な長さで併せて交換して下さい。

アウトサイド部品が抜けない様に進行方向の逆方向へ回してタイヤが見えるまで回して下さい。

溝がタイヤの位置まで来たらその状態を維持してアウトサイド部品のみ外へ引き抜いて下さい。

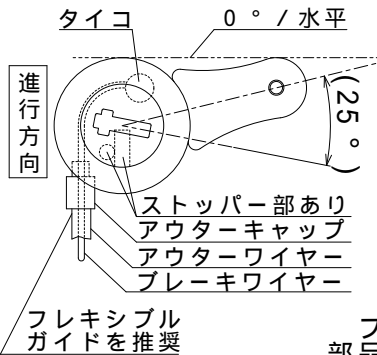
取付け時、タイヤ挿入後と逆に回し、のネジ穴が見えたら外したM4 x 10六角穴付ネジで固定下さい。の部類は抜かずに維持して下さい。

摺動部を清掃し、10丸棒や溝へグリス塗布しブレーキワイヤー側の取扱説明書で調整して下さい。



ブレーキワイヤーの取り付け方法については上記のと"取り外し"の逆の要領で作業を行って下さい。

< パームブレーキバーの位置 >
図は左側ですが位置は左右共に同じです。



- ・パームブレーキバーとワイヤー挿入方向を確認して下さい。位置関係が合わないと正常に動作しません。
- ・パームブレーキバーはハンドルの端より45mm出っ張ります。ハンドル交換の場合はカットして下さい。
- ・パームブレーキバー推奨角度は0°水平です。調整し回止め塗布したM4 x 3止めネジで固定して下さい。(ロゴ水平にてパームバー角度は約25°になります)

ブレーキ部分は自転車を安全に走行させる重要部品です。作業調整後は必ず動作確認して下さい。
ワイヤーは疲労します。1年毎に交換して下さい。

< 問い合わせ > info@pmt.tokyo